

2015年12月21日

～「旅に出たくなる、思わず手にとる」パンフレット～

第3回 ふるさとパンフレット大賞 決定！

大賞は福井県福井市、優秀賞に東京都目黒区、企画賞に香川県丸亀市

主催：一般財団法人地域活性化センター

後援：時事通信社、共同通信社

地域活性化センターでは、東京都中央区・日本橋プラザビル1階に「ふるさと情報コーナー」を設置し、都道府県・市町村の観光・イベント等のパンフレット約2,600種類を展示し、来訪者の皆様にご自由にお持ち帰りいただいています。同コーナーは、年間、約32万部のパンフレットを提供し、提供部数の多い人気パンフレットランキングを毎年発表していますが、ランキングの上位は有名観光地に集中しがちです。そこで、当センターでは、平成25年度から「ふるさとパンフレット大賞～旅に出たくなる、思わず手にとる～」を設け、人気観光地でなくても優れたセンスで地域情報を発信しているパンフレットを表彰しています。この度、第3回の各賞が決定しましたのでご報告させていただきます。

選考委員会では、事前審査を通過した20種類のパンフレットを、選考委員の皆様で一つずつ協議、検討し、各賞が決定いたしました。詳細は下記のとおりです。事業の内容は、センターホームページ「ふるさと情報コーナー」でご覧になれます。

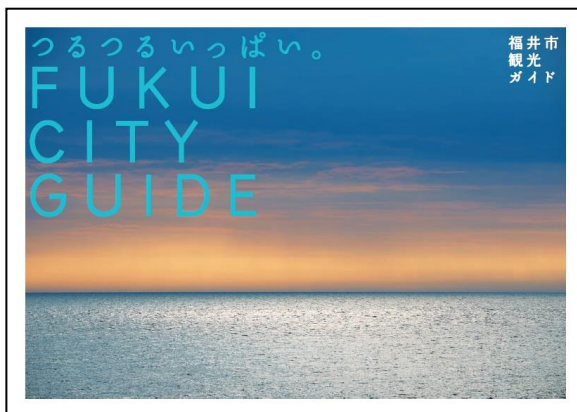
記

1. 名称 「ふるさとパンフレット大賞 ～旅に出たくなる、思わず手にとる～」
2. 目的 地域の魅力的なパンフレットの創造により、今は目立たない地域でも多くの方に興味を持っていただき、旅に出ていただくことで地域の活性化を目指しています。
3. 各賞受賞パンフレット

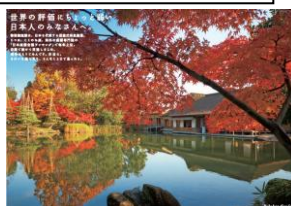
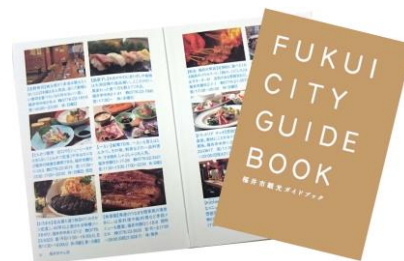
○ふるさとパンフレット大賞

福井県福井市「FUKUI CITY GUIDE」

【写真編】



【別冊】



※パンフレット【写真編】より引用

- 優秀賞
東京都目黒区「てのひらの中のメグロ」
- 企画賞
香川県丸亀市「見えないワタシ」
- 南伸坊賞
青森県繻ヶ沢町「負けらいね新聞」
- 楓千里賞
北海道中川町「ナカガワのナカガワ」
- パッケン賞
東京都練馬区「アニメ・イチバンのまち練馬区（英語版）」
- マッケン賞
鳥取県琴浦町「ことことことうら」
- 地域活性化センター賞
岐阜県山県市「やまがた旅図鑑」

4. 審査について

- ① 大賞、優秀賞、企画賞（選考委員会による審査）と選考委員個人賞を決定。
- ② 審査対象は、平成27年10月1日にふるさと情報コーナーに展示されている観光パンフレットです。（対象パンフレット 総数約2,500点）
- ③ 審査の基準は、デザイン、言葉の力、利用しやすさ、企画力の4項目です。

5. 選考委員

- 委員長 南 伸坊 氏（イラストレーター）
 委員 楓 千里 氏（株）JTBパブリッシング 取締役
 パッケン 氏（お笑いコンビ パッケンマッケン）
 マッケン 氏（お笑いコンビ パッケンマッケン）
 岩崎 正敏（地域活性化センター常務理事）

※なお、事前審査には立教大学観光学部の4名の学生が当たりました。

6. ふるさとパンフレット大賞 審査委員からのコメント

○南 伸坊 委員長

【総括】

「ふるさとパンフレット大賞」も第3回目となって、前回、前々回にも増して力作が揃うようになりまし。賞ねらいで力を入れているところも出てきたという話で、審査員としては、とてもうれしい、ありがたいことです。各賞の受賞作は、それぞれに素晴らしいところがあります。思いきりのいいデザイン。奇抜なスタイル。文字情報で押した文庫本風。1Pずつで観光スポットを紹介した斬新さ。観光より人を押し出した編集。社会科の教科書みたいな作り。ギャルにターゲットを絞った編集。外国の観光客をねらった作り。それぞれにユニークで意欲的な秀作が出来ました。この動きがさらに広がっていったら、とたのしみですね。

【個人賞】

ひろげれば新聞スタイルで、ウラはポスターに、形式が斬新だしデザインが新鮮で力強い。折りたたんでペタリと綴じたシールもいいです。新しい「形」を発明した。そのことを激賞したい。

○楓 千里 委員

「ナカガワのナカガワ」はまず表紙に惹きつけられました。漢字の中川を斜めストライプにデザインし、バックに広がる中川の山々の写真を包み込んでいます。今まで見たことの無い斬新さにびっくり。頁をめくると、中川町を舞台にしたショートストーリーが続き、木こり、木工作家、地球環境学博士、味道家、町役場職員の働く姿が眩しく登場します。パンフレットでありながら、中川町劇場で上演中の中川町物語だと気づくのは、無人駅が掲載された最終頁に辿りついた時。なるほど「ナカガワのナカガワ」なのです。中川町を訪れて、登場する役者さん達に是非会いたいと思わせてくれました。満場一致で選ばれた大賞の福井市観光ガイドは、デザイン、企画とも大変優れていますが、何よりも澁刺としたコピーが秀逸です。福井を知り尽くした方が、福井の様々な表情にじっくりと向き合いながら、考え抜いた言葉。言葉の力で地域を伝える大切さを教えてくれる作品です。

○パッケン 委員

自分が審査委員じゃなくて、パンフレット製作担当者だったらどうアプローチするか。

愛する場所を紙の媒体でアピールするにはどんなアプローチが一番いいだろう？プロのカメラマンの傑作写真を高そうな紙にバーンと大きく載せ、詩人や偉人の名言を添えるのか？それともスナップショット的な写真で、地元の方々の笑顔と共に、方言をフィーチャーした素朴な一言を手帳型のものにまとめるのか？

この数年、審査しながら実感したのは、日本の地方の魅力も多々あるけれど、その見せ方も実に様々だということ。伝え方には正解がいっぱいある。今回もたくさんの素晴らしい作品を見ながら「日本の津々浦々をもっと訪れたい」、「もっと知りたい」と強く感じた。そして同時に思ったのは『日本のパンフレットをもっと見たい!』ということ。皆さんもドンドン手にとってみてください!

○マッケン 委員

今年も参加させていただきありがとうございます。3回目の選考委員会ですが、今年のパンフレットは女性へ、男性へ、歴史好きへ、芸術好きへ、スイーツ好きへ、などターゲットを絞ったものが僕の中で印象に残りました。何かに特化した見せ方は「今、我が町はこれを推している!」というのがものすごく伝わってきます。またQRコードを載せてインターネットと連動させたパンフレットも多かったですね。「一番伝えたいこと」と「見せたいもの」をパンフレットに載せ、その他の細かい情報はパソコンやスマホで紹介するという今の時代ならではの工夫も素晴らしいと思いました。まだ3年しか携わっていないのにものすごく進化しているパンフレット。これからもどんどん進化していくと思いますが・・・正直、選考がどんどん難しくなっていくので困惑しております(^^;)

○地域活性化センター常務理事 岩崎 正敏

決して有名な土地ではないけれど、表紙の佇まいが気になって手に取って見たら、そこに暮らす人や日常の味などを髣髴とさせ、一度行ってみたいも良いかなと思わせる「やまがた旅図鑑」(岐阜県山県市)を選ばせていただいた。

大賞の「福井市観光ガイド」は、イメージの押し出しと詳細な個別情報を別冊とし、刺激と使い勝手を両立させた力作である。

優秀賞には、今さらながらと思いきや「へーそうだったのか」感を与える目黒区のもの、企画賞は、文字通りポケットに入れて訪れてみようという気にさせる丸亀市の文庫本版が選ばれた。

各委員賞は、パンフレットの概念を覆すもの、生活をほのぼのと主張するもの、クールジャパンの聖地を自認するもの、ターゲットを絞り込んで突っ込んだものと、多彩なパンフレットのそろい踏みとなった。

もしかすると、パンフレットの後ろにある思いや熱意を見ているのかもしれない。



左から 岩崎常務理事、楓千里氏、南伸坊氏、マッケン氏、パッケン氏

7. 受賞パンフレットの詳細内容は、12月下旬よりホームページでご覧になれます。

受賞パンフレットは「ふるさと情報コーナー」でも展示しておりますが、パンフレットによっては、在庫が僅少のものもございます。入手できない場合もありますのでご了承ください。

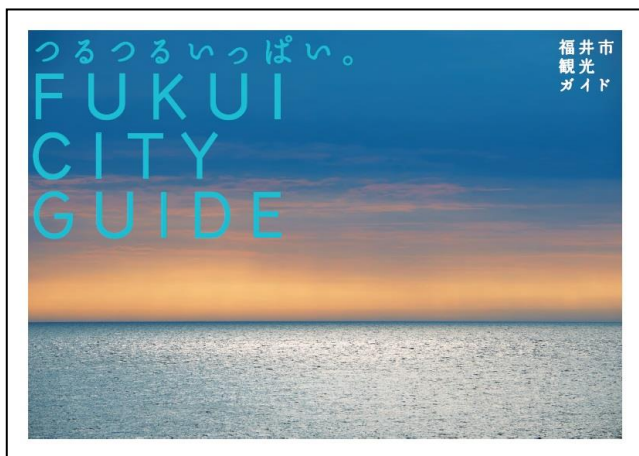
8. 詳細情報は、地域活性化センター ホームページ 「ふるさと情報コーナー」ページに掲載
<http://www.jcrd.jp/>

【お問い合わせ先】一般財団法人 地域活性化センター 広報室 姫野、畠田

電話03-5202-6137

第3回 ふるさとパンフレット大賞 受賞パンフレット

【大賞】福井県福井市



【優秀賞】東京都目黒区



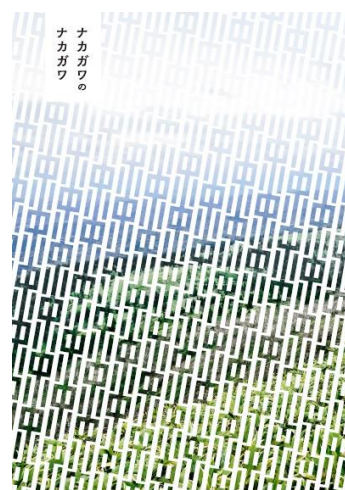
【企画賞】香川県丸亀市



【南伸坊賞】青森県鯉ヶ沢町



【楓千里賞】北海道中川町



【パックン賞】東京都練馬区



【マククン賞】鳥取県琴浦町



【地域活性化センター賞】
岐阜県山県市

